

【概要】

2016年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第1回)

I 調査の概要

本調査は、調査対象期間(2016年3月～2016年9月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者についての結果を取りまとめたものです。(回答数:149件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が最多<p.3>

- ・フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等は、「住宅・販売事業者」(42.3%)、「インターネット」(26.2%)、「モデルルーム、住宅展示場」(12.1%)の順
- ・フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「住宅・販売事業者」、「インターネット」等の影響が大きい。

2 フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」と「金利が低い」が多い<p.7>

- ・フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(56.4%)と「金利が低い」(55.7%)がほぼ同率で多かった。

3 フラット35に対する満足度の平均点は、「事務手続」以外の全ての項目でフラット35以外の民間住宅ローン利用者を上回った。<p.9>

- ・フラット35以外の民間住宅ローン利用者と平均点を比較すると、「事務手続」以外のすべての項目でフラット35利用者の平均点が上回った。